

デーリー東北

2022年(令和4年)10月23日(日曜日) (20)

節目祝い 新たな一歩

八戸工業大創立50周年式典



節目を祝ってあいさつする在学生代表の三田知広さん(中央)＝22日、八戸市

八戸工業大の創立50周年記念式典が22日、八戸グラウンドホテルで開かれた。教職員や関係者、同窓会のメンバーら約180人が節目を祝うとともに、新たな歴史への歩みを進めた。

同校は1972年、青森県内初の工学系4年生大学として開学。97年4月には北東北の私立大学で唯一の大学院を設置した。これまで

で卒業生1万9149人、修士506人、博士58人を輩出している。

式典では、坂本禎智学長が「これからの時代に対応した分野横断教育と人間力の教育で、幅広い視野と思考を持った人材を育成する」と強調。柳谷利通理事長は「次の節目に歩みを進めるため、教職員一丸となつて努力していく」と述べた。

在学生を代表し、学友会委員長で工学部システム情報工学科3年の三田知広さんが「大学の発展があつたのは教職員の献身、地域の支援のたまものと思つている。感謝の気持ちや大学で学んだことを形にしたい」とあいさつ。

同会副委員長で同科2年の関口結実さんは「八工大の名を広げるため、仲間の力を借りながら一歩ずつ進んでいきたい」と語った。

(藤村大地)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。